



CTF通信

集う・遊ぶ
学ぶ・働く

第109号

2012年4月

発行：CTF松阪

新しい事業年度を迎えて

平成 23 年度は、昨年 3 月に起こった「東日本大震災」の復旧・復興に明け暮れましたが、被災地では未だにがれきの山が残り、建物の基礎だけが残る姿を報道で見ると、早急に何らかの措置がとれないものかともどかしく感じられます。

三重県においても昨年 8 月から 9 月にかけての台風 12 号による紀伊半島大水害で、死者・行方不明者 3 名、重軽傷者 17 名、全壊家屋 81 棟、半壊家屋 1077 棟の甚大な災害がありました。

自然の力を甘く見ることなく、常に備えを万全にしておくことが肝心であると考えさせられます。

さて CTF 松阪の平成 23 年度は、会員の皆さまの温かいご支援・ご協力のおかげをもちまして、着実に活動を重ねて、障がい者の方々から大変喜ばれました。

CTF 松阪の活動目的の一つである“IT を活用した就労および自立支援”についてですが、昨年度初めにもお願いをしましたが、ホームページの制作・更新や、各種イベントのチラシやパンフレットの制作など、パソコンを使ったお仕事がありましたら、ぜひ CTF 松阪へ発注いただけるよう、事務局までご紹介ください。十分にスキルアップしたワーク会員が、お客様のご要望に沿ったかたちで仕上げさせていただきます。

以下に昨年度の活動実績を報告させていただくとともに、今年度もご支援・ご協力をお願いいたします。

CTF 松阪平成 23 年度活動実績

☆障がい者対象個人向けパソコン講座開催	41 回	受講者	延 189 名
☆障がい者対象夏季パソコン講座開催	6 回	受講者	延 25 名
☆ワーク会員スキルアップ研修会開催	11 回	受講者	延 11 名
☆サポート従事者研修会開催	3 回	受講者	延 29 名
☆障がい者・難病患者宅 IT サポート訪問	43 回		
☆IT 関連事業受注による障がい者就労・自立支援	4 件		
☆会報（CTF 通信）発行	12 回		



3 月 18 日は点字ブロックの日、点字ブロック発祥の地モニュメント

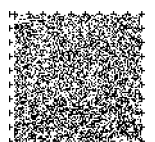
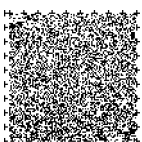
点字ブロック(視覚障害者誘導用ブロック)は、三宅精一氏により発明されました。

1967 年 3 月 18 日、岡山県立岡山盲学校に近い国道 2 号線(現:国道 250 号)原尾島交差点周辺(現:岡山県岡山市中区)に世界で初めて敷設されました。今は各地に敷設されたので単独歩行にはかかせないアイテムです。

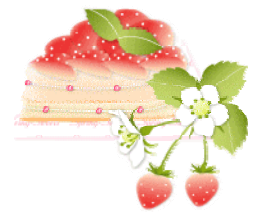
先般私たちの会員が駅から転落をして亡くなりました。これもその場所にうまく点字ブロックがあればとの思いもあります。

だれもが暮らしていける社会が来ることを願ってやみません。

M. W



今月号は文字数が多いので、第 1 ページと第 4 ページに SP コードを 2 個付けてあります。第 1 ページと第 4 ページでは、先に左下の SP コードを、次に右下の SP コードを読んでください。



Windows XP のブート最終段階 (5-5)

Windows XP のブート・セクターの IPL は「NTLDR」というファイルを読み込む。この IPL を「NT IPL」と呼ぶ。NTLDR はインストール済みの複数の OS から 1 つを選んで起動できるマルチブート機能を備えている。そのため NTLDR が読み込むファイルは MSDOS.SYS ではなく、複数の OS 名と起動元になるパーティション、Windows ディレクトリ(デフォルトでは¥WINNT)の情報を記述可能な「BOOT.INI」ファイルとなる(図8)。

NTLDR が表示した OS の切り替え画面で Windows XP を選択した場合、NTLDR は「NTDETECT.COM」を実行しハードウェアの互換性をチェックする。その後、OS がインストールされているディレクトリに移行してレジストリを変更・参照後、カーネルの「NTOSKRNL.EXE」やドライバ、各種 DLL の起動を経て Windows XP が起動する。この流れは単独インストールの場合や BOOT.INI が無い場合も同じである。

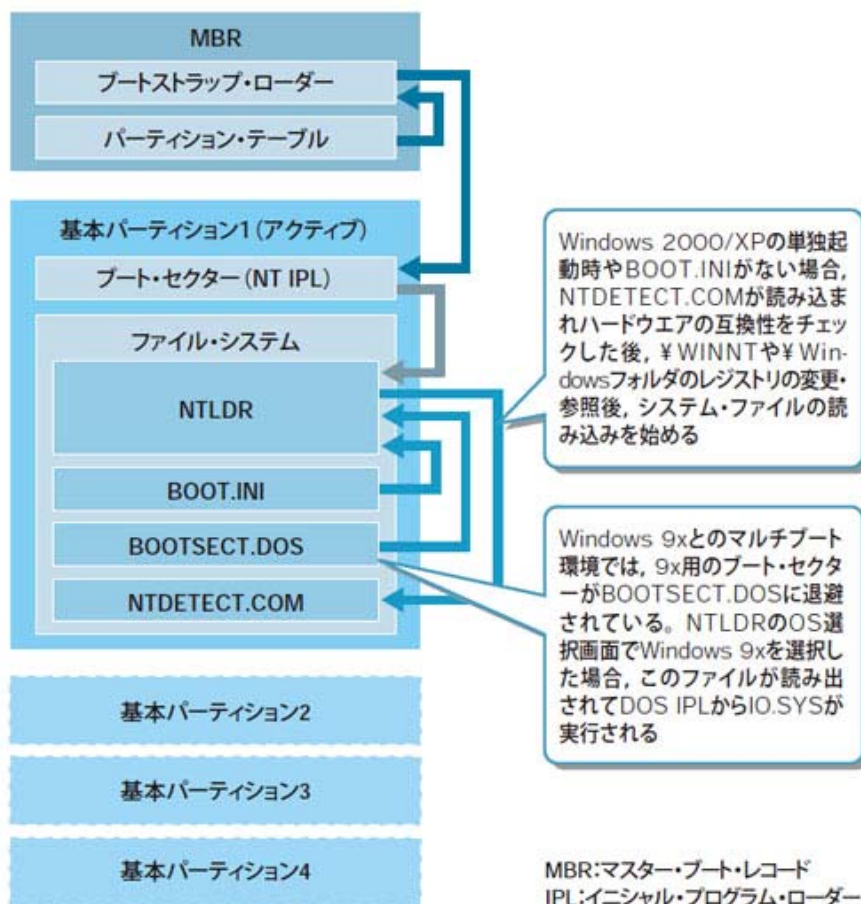
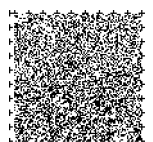


図8 Windows XP のブート・シーケンス

おわり



活動報告

【3月】

障がい者対象個人向けパソコン講座
(6日、13日)

訪問ITサポート
(1日(2件)、8日、15日)



活動予定

【4月】

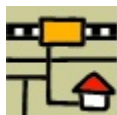
理事会
14日 13:30~16:30
松阪市障害者福祉センターにて

障がい者対象個人向けパソコン講座
10日、17日、24日
各 9:30~11:30
松阪市障害者福祉センターにて

予 告

平成 24 年度 CTF 松阪通常総会が 5 月に開催されます。

詳細につきましては、正会員の皆さまに別途ご案内を差し上げますので、多数ご参加いただき、建設的なご意見をくださいますようお願いいたします。



駅をたずねて

権現前駅

先月ご紹介の上ノ庄駅の次の駅が権現前駅です。
昭和 4 年に名松線はこの権現前駅まで開通し、当時はこの駅が名松線の終着駅でした。

現在はプラットホームが 1 面と線路が 1 線の無人駅です。(写真上)

この駅の周辺には、松阪市嬉野地域振興局や三重県畜産研究所、嬉野ふるさと会館、嬉野図書館などの官公署や文化施設などがあります。

嬉野ふるさと会館 2 階にある嬉野歴史資料館には、日本最大級の鴟尾(国指定文化財)や、「田」の文字や人面が書かれている墨書土器等嬉野地区の遺跡(縄文~鎌倉時代)からの出土品(市指定文化財)が多数展示されています。(写真下)



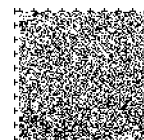
路線名：JR 名松線

所在地：松阪市嬉野権現前町 861

開設年：昭和 4 年

乗車人員：1 日平均 48 人(平成 21 年度)

出典・平成 23 年刊三重県統計書



今月は、北勢地域でまちづくりの仕事をしているH。H様がこのほど帰郷されることとなり、久しぶりのご投稿をいただきました。

さようなら三重県！

H. H

CTF松阪の皆さん、ご無沙汰しております！早いもので、もう4月ですね。春といえば、別れと出会いの季節です。この度、私事で恐縮なのですが、実家がある山口県周南市（旧徳山市）へ帰郷することとなりました。地元の高校を卒業後、大学進学を機に三重県にやって来ましたが、三重県に住むこと、通算15年（松阪10年、四日市5年）。自分でもこんなに長く住むことになろうとは夢にも思いませんでした。私の頭の中では、いつかは山口に帰ろうと考えていたのですが、このままでは「永住」になってしまうという焦りが年々高まって来ていました。そこに東日本大震災が発生したことにより、改めて実家にいる両親のことを考え直しました。山口に戻ろうという決断はあっさり下されました。もちろん長年、三重にいるので、地元とはいえ山口のことは「浦島太郎」状態で、上手くとけ込めるかな～というちょっぴり不思議な不安感もあります。しかし、正月や連休には帰省していたので、地元の状況は分かっていました。それは年々ふるさとが寂れていく光景でした。今年に入っても、周南市周辺の大きな工場が相次いで閉鎖されたりと、地元では重苦しい閉そく感が充満している一方、まちづくりで何かお手伝いしたいという前向きな気持ちも湧いています。今春からは三重で学んだことを胸に、地元山口でまた一から出直すつもりです。最後になりますが、この場を借りて、お世話になった三重県の方々には感謝申し上げます。ありがとうございました！

追伸・・・もし、山口に来られる機会があれば（通過も含む）、ぜひご一報ください。

(wj96356@yahoo.co.jp)

- ・周南市ホームページ
<http://www.city.shunan.lg.jp/index.jsp>
- ・山口県観光情報
<http://www.oidemase.or.jp/>



編集後記

4月は新学期が始まりました。桜の花が見事に咲き、背中いっぱいランドセルを背負った可愛い小学生が、元気に通学して行く姿が目につきます。この子供達が、これから大きい夢を背負って雄々しく伸びて行くことを願っています。CTFも新年度です・・・

会員の方々温かくなって来ましたよ・・・火曜日のパソコン講座に来てください・・・皆さん待っています・・・



CTF 通信第 109 号

2012年（平成24年）4月発行

発行者 ITを活用した障がい者支援NPO法人

CTF 松阪

発行責任者 川 口 保 美

住 所 〒515-0081

松阪市本町 2181-1

電 話 0598-21-7268

U R L <http://ctf.dip.jp/>

